

眼科

大鳥安正

大阪の中心に位置していることから、近畿圏における主要な基幹病院として病診連携・病病連携の重要性を認識し、紹介元と緊密に連絡を取るようしており、特に緑内障・網膜硝子体疾患においては多くの難治性疾患を受け入れ、最終病院として機能しています。各医員は白内障以外に専門分野を標榜しており、情報収集も怠らず、最新で質の高い医療を提供することを心がけています。また、厚生労働省の政策医療感覚器ネットワーク機関としても全国の多施設共同研究に参加しています。

平成 24 年 4 月から 25 年 3 月の眼科における総手術件数は総計 1,515 件でした。

白内障：白内障手術件数は最も多く、平成 24 年度の白内障関連手術件数は 957 件（1 泊入院 155 件、眼内レンズ縫着術 28 件）でした。入院には片眼 6 日間、両眼 7~10 日間の通常入院のほか、1 泊 2 日入院も選択可能です。白内障手術の待ち期間は平均 1 か月程度です。緑内障：原発開放隅角緑内障は薬物療法が第一選択ですが、薬物療法で眼圧下降が十分でない場合には外科的治療（線維柱帯切除術が主流、発達緑内障やステロイド緑内障には線維柱帯切開術を選択、平成 24 年度の緑内障手術件数は 249 件）を行っています。また、難治な血管新生緑内障に対しても積極的に線維柱帯切除術を行っています。隅角検査のみならず超音波生体顕微鏡、前眼部光干渉断層計などを用いることで、閉塞隅角緑内障の診断・治療を厳密に行っています。網膜・硝子体手術：増殖糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症、網膜剥離、黄斑部手術などを中心に積極的に行っています。平成 24 年度には硝子体手術 251 件、強膜内陥術 10 件が行われ、網膜剥離症例では症例に応じて初診当日入院・当日手術も行っています。硝子体手術は 25 ゲージシステムによる低侵襲硝子体手術を実施し良好な成績を得ています。手術加療だけでなく、外来での網膜光凝固治療や血管新生阻害薬であるアバスタチンや副腎皮質ステロイドであるケナコルト等の眼局所投与による治療も積極的に行っています。その他（眼形成・翼状片など）：眼瞼下垂手術 8 例、眼瞼内反症手術 7 件、翼状片手術 7 件、涙管チューブ挿入術 6 件など 48 件の手術が行われました。眼部悪性腫瘍は当院の形成外科と連携しております。HIV/AIDS：当院は HIV/AIDS 先端医療開発センターであるため、免疫・感染症内科との連携によりサイトメガロウイルス網膜炎などの AIDS 眼合併症の治療を多数行っています。角膜：角膜疾患としては、ドライアイの症例が多く集まり、症状に応じて涙点プラグ挿入、涙点閉鎖を行います。重症例には薬剤部の協力を得て、自己血清点眼薬を自家調整し処方することで良好な成績を得ています。また、他の医療機関で難治性となった薬剤耐性菌感染症やアカントアメーバ角膜炎等の角膜感染症の治療に関しても薬剤部の協力を得て、自家調整点眼薬を処方することで良好な成績を得ています。

【2012 年度研究発表業績】

A-0

Usui S, Ikuno Y, Akiba M, Maruko I, Sekiryu T, Nishida K, Iida T. Circadian changes in subfoveal choroidal thickness and the relationship with circulatory factors in healthy subjects. Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012;53:2300-2307. (2012 年 4 月)

Higashiura R, Maeda N, Nakagawa T, Fuchihata M, Koh S, Hori Y, Inoue T, Nishida K. Corneal topographic analysis by 3-dimensional anterior segment optical coherence tomography after endothelial keratoplasty. Invest Ophthalmol Vis Sci 2012;53(7):3286-3295. (2012年6月)

Iwahashi-Shima C, Miki A, Hamasaki T, Otori Y, Matsushita K, Kiuchi Y, Okada M, Kusaka S. Intraocular pressure elevation is a delayed-onset complication after successful vitrectomy for stages 4 and 5 retinopathy of prematurity. Retina 2012;32(8):1636-1642 (2012年9月)

Koh S, Maeda N, Nakagawa T, Nishida K. Quality of vision in eyes after selective lamellar keratoplasty. Cornea 2012;31 Suppl 1:S45-49. (2012年11月)

Tada A, Hashida N, Tanaka T, Nishida K.: Anti-interleukin-6 receptor antibody therapy-induced retinopathy in a patient with rheumatoid arthritis. Case Rep Rheumatol. 2012;270315. doi: 10.1155/2012/270315. Epub 2012 Dec 24.(2012年12月)

Aihara M, Oshima H, Araie M; EXTraKT study group. Effects of SofZia-preserved travoprost and benzalkonium chloride-preserved latanoprost on the ocular surface, a multicentre randomized single-masked study. Acta Ophthalmol 2013 Feb;91(1):e7-e-14. Doi: 10.1111/j. 1755-3768. 2012.02565.x. Epub 2012 Dec 13. (2012年12月)

Kuroda S, Ikuno Y, Yasuno Y, Nakai K, Usui S, Sawa M, Tsujikawa M, Gomi F, Nishida K.: Choroidal thickness in central serous chorioretinopathy. Retina. 2013;33(2):302-8 (2013年2月)

A-1

大鳥安正 : 眼圧下降の評価方法を教えてください。変動や測定誤差、アドヒアランスなどで評価が難しい点を挙げてください、専門医のための眼科診療クオリファイ、緑内障薬物治療ガイド、相原一 編集、p 37-40、中山書店、2012年、4月

A-3

中川智哉 : コンタクトレンズ処方前検査 角膜形状検査はここまで必要、あたらしい眼科 29(4):495-496、2012年4月

中川智哉、前田直之、東浦律子、相馬剛至、高静花、辻川元一、大鳥安正、西田幸二 : 円錐角膜における光干渉断層計トポグラフィャーによる角膜形状解析と装用コンタクトレンズベースカーブとの関係、日本コンタクトレンズ学会誌 54(3):159-164、2012年7月

濱本亜裕美、建林美佐子、上平朝子、黒田聡、森本裕子、中川智哉、臼井審一、渡辺誠樹、數尾久美子、大鳥安正 : ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 患者の HAART 導入前後の眼合併症、日眼会誌 116:721-729、2012年8月

植松聡、森本裕子、濱本亜裕美、中川智哉、臼井審一、渡邊誠樹、建林美佐子、數尾久美子、大鳥
安正：血液透析後の一過性眼圧上昇により視野障害が進行したと推測される緑内障の一例、眼科臨
床紀要 5(11):1043-1047、2012 年 11 月

B-2

Usui S. Peripapillary Choroidal Imaging and Glaucoma Diagnosis. 2012 Asia-Pacific Academy of
Ophthalmology/ European Society of Ophthalmology. 釜山、2012 年 4 月

Usui S., Ikuno Y, Kuroda S, Morimoto Y, Yasuno Y, Otori Y. Fluctuations of Axial Length and Choroidal
Thickness in Trabeculectomy. 2012 ARVO/ISIE Imaging Conference. フォートローダゲール、2012 年 5
月

Usui S., Ikuno Y, Kuroda S, Jo Y, Asai T, Miki A, Akiba M, Otori Y., Nishida K. Evaluation of peripapillary
tilting in Highly-myopic Glaucoma using High-Penetration Optical Coherence Tomography. 2012 The
association for research in vision and ophthalmology. フォートローダゲール、2012 年 5 月

Otori Y. Comparison of swept-source ocular coherent tomography and ultrasound biomicroscopy for
measurements of anterior chamber depth in patients with primary angle closure or its suspect, The 1st
Asia-Pacific Glaucoma Congress、パリ、2012 年 12 月

B-3

大鳥安正：教育セミナー：前眼部画像解析時代の隅角検査の意義、前眼部画像解析装置と隅角検査、
第 116 回日本眼科学会総会、東京、2012 年 4 月

臼井審一、生野恭司、黒田聡、城友香理、浅井智子、三木篤也、秋葉正博、大鳥安正、西田幸二：
高侵達光干渉断層計による視神経乳頭周囲形状解析における強度近視緑内障の特徴、第 116 回日
本眼科学会総会、東京、2012 年 4 月

浅井智子、生野恭司、城友香理、臼井審一、秋葉正博、西田幸二：正常強度近視眼における高侵達
光干渉断層計を用いた視神経乳頭周囲形態の評価、第 116 回日本眼科学会総会、東京、2012 年 4 月

中川智哉：学術奨励賞受賞講演「円錐角膜における角膜トポグラファーの進歩とコンタクトレンズ
処方への応用」、第 55 回日本コンタクトレンズ学会、横浜、2012 年 7 月

大鳥安正：患者さんがわくわくする緑内障診療一次の受診が楽しみになる？第 66 回日本臨床眼科
学会ランチョンセミナー、京都、2012 年 10 月

B-4

多田明日美、橋田 徳康、中井 慶、田中 敏郎、西田 幸二：関節リウマチに対するトシリズマ
ブ投与後に多発性の綿花様白斑を認めた 1 症例 第 46 回日本眼炎症学会 横浜 2012 年 7 月

三浦聡子、臼井審一、黒田 聡、中川智哉、津村朋子、建林美佐子、數尾久美子、大鳥安正：房水漏出点が強膜弁に近い場合の濾過胞再建術。第 23 回日本緑内障学会、金沢、2012 年 9 月

植松聡、三浦聡子、中川智哉、臼井審一、津村朋子、數尾久美子、建林美佐子、大鳥安正：内眼手術の有無による線維柱帯切除術の術後成績の比較、第 23 回日本緑内障学、金沢、2012 年 9 月

三浦聡子、數尾久美子、多田明日美、黒田聡、押田奈都、山本拓広、中川智哉、津村朋子、埜中正博、建林美佐子、山崎麻美、大鳥安正：頭部外傷をもつ虐待児の受傷年齢、眼所見、頭蓋内所見に関する検討。第 66 回日本臨床眼科学会、京都、2012 年 10 月

植松聡、建林美佐子、三浦聡子、數尾久美子、大鳥安正、吉龍澄子、是恒之宏：球後麻酔による球後出血により著明な視力障害をきたした抗凝固療法患者の一例。第 36 回日本眼科手術学会総会、博多、2013 年 1 月

多田明日美、大島佑介、高静花、城友香理、前田直之、西田幸二：角膜混濁眼における超音波白内障手術の眼内レンズ度数の決定方法の検討、第 36 回日本眼科手術学会総会、福岡、2013 年 1 月

三浦聡子、相馬剛至、佐々本弦、中川智哉、藤本久貴、大家義則、高静花、辻川元一、前田直之、西田幸二：全層角膜移植術後眼の角膜上皮厚に影響する因子の検討。第 37 回日本角膜学会総会/第 29 回日本角膜移植学会、白浜、2013 年 2 月

B-5

大鳥安正：緑内障診断における OCT の有用性、第 2 回わかりやすい OCT 勉強会、大阪、2012 年 1 月

大鳥安正：求める情報共有（紹介時、逆紹介時）、Pfizer Glaucoma Symposium 2012、東京、2012 年 2 月

大鳥安正：緑内障薬物治療ーよりよい薬物選択をめざしてー第 34 回京滋緑内障カンファレンス、京都、2012 年 2 月

大鳥安正：前眼部画像解析装置の臨床応用、Retina Glaucoma Club 2012、大阪、2012 年 3 月

大鳥安正：スキルアップ緑内障診断：OCT を使いこなそう、第 3 回阪大眼科拡大医局会、大阪、2012 年 5 月

大鳥安正：提案！私の工夫 治療における患者さんへの説明の工夫、コツ、瀬戸内コロシウムアフタヌーンセミナー、広島、2012 年 9 月

大鳥安正：光干渉断層計を応用した緑内障診断から薬物治療導入まで、埼玉講演会、埼玉、2012

年 10 月

大鳥安正：続発緑内障に対する手術治療：トラベクレクトミーでどこまで治療できるか？第 23 回
みちのく緑内障懇話会、秋田、2012 年 11 月

大鳥安正：光干渉断層計を応用した緑内障診断、三河緑内障学術講演会、愛知、2012 年 11 月

大鳥安正：緑内障治療の工夫－薬物治療から手術治療まで－、緑内障アップデートセミナー、福岡、
2012 年 11 月

B-6

三浦聡子：線維柱帯切除術後に非典型的な経過をたどり治療に難渋した一例、第 41 回関西緑内障
セミナー、大阪、2012 年 5 月

多田明日美、橋田徳康、松下賢治、西田幸二：結膜 MALT リンパ腫に対してリツキシマブ単独投
与が著効した 1 症例、第 389 回大阪眼科集談会、大阪 2012 年 8 月

三浦聡子：上強膜静脈拡張を伴った続発緑内障にトラベクレクトミーと白内障同時手術をしたら、
白内障術直後に悪性緑内障を併発、さてどうしましょう。出張！東京緑内障セミナー in Kyoto、京
都、2012 年 10 月

多田明日美、三浦聡子、植松聡、山本拓広、中川智哉、津村朋子、數尾久美子、建林美佐子、大鳥
安正：抗パーキンソン病薬の内服により発症したと推測される両眼急性原発閉塞隅角症の 1 症例、
第 392 回 大阪眼科集談会、大阪 2013 年 2 月

B-8

大鳥安正：緑内障、富山大学医学部 3 回生学生講義、富山、2012 年 1 月

中村誠、狩野廉、大鳥安正、森和彦、関西緑内障道場：緑内障術後管理の実践講座、第 36 回日本
眼科手術学会インストラクションコース、名古屋、2012 年 1 月

大鳥安正：前眼部画像解析装置と隅角検査、中央区勉強会、大阪、2012 年 6 月

大鳥安正：緑内障手術のこれから－成功から学ぶものは何もない－OTC、大阪、2012 年 8 月

狩野廉、植木麻理、大鳥安正、中村誠、森和彦、関西緑内障道場：OCT 時代の眼底のみかた 1000
本ノック、第 66 回日本臨床眼科学会インストラクションコース、京都、2012 年 10 月